

6月18日(木) 四十日保育園の園児がランニングバイクで屋外活動を行いました

四十日保育園の年少から年長の園児22人が園庭でランニングバイクに乗って屋外活動を行いました。

ランニングバイクは、ペダルやブレーキがなく地面を蹴って進む自転車です。RIDE ON^{ライドオン}南魚沼プロジェクトの一環で、幼少期から自転車に親しんでもらおうと市内の保育園・認定こども園に5月から無償で貸し出しを行っています。

園児たちは、バランスを取りながら軽快に走ったり、慎重にゆっくり進んだりと思い思いに楽しんでいました。



RIDE ON 南魚沼プロジェクトとは

自転車を活用し、住民の健康増進・観光振興・環境への負担軽減・交通問題の緩和など、公共の利益を増進し、地域活性化につなげることを目的としたまちづくりプロジェクトです。詳しくは市ウェブサイト「RIDE ON南魚沼プロジェクト」で検索をご覧ください。

6月26日(金) ランニングバイクが寄贈されました

本庁舎で、株式会社魚沼中央トランスポートの代表取締役佐藤正一さんが出席し、ランニングバイクの贈呈式が行われました。

佐藤さんからは「新聞で市内の保育園児がランニングバイクに乗っている姿を見て、とても良いものだと感じました。ランニングバイクを待っている子どもたちに、少しでも早く順番が回って来ればうれしいです」という言葉とともに、ランニングバイク15台をご寄贈いただきました。

林市長は「多くの台数を寄贈いただき大変ありがとうございます。大切に使用させていただきます。ランニングバイクに乗ることで、バランス感覚が養われ自転車に早く乗れるようになることがあります。市で推進している自転車を活用したまちづくり(RIDE ON南魚沼プロジェクト)の一環として、自転車の普及に向けたランニングバイクによるレースの開催などを検討していきたいと考えています」と寄贈への感謝を語りました。



7月1日(水) 避難所用床ロールマットが寄贈されました

本庁舎で、一般社団法人南魚沼建設業協会会長の井口和成さん、副会長の羽吹忍さん、事務局長の山口恒一さんが出席し、避難所用床ロールマットの贈呈式が行われました。

林市長は「大きな災害は、6～7月に集中しています。今年はコロナ禍ということもあり、避難所に関心が高まっています。今年の南魚沼市民総合防災訓練は中止としましたが、模擬避難所の開設訓練などで活用させていただきます。使用しないことが一番ですが、有事の際には有効に活用します」と寄贈への感謝を述べました。

会長の井口さんは「市長のいうとおり、備品は使用しないことが一番ですが、昨年の台風19号のような災害が起こることもあります。市民のみなさんに安心を届けていただければと思います」と語りました。

